

調査名

孔番・深度

H27 B-3 (90 ~ 95)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 90 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化			
	05				✓	✓	✓	ε	3		
	91			25YR 1/2 明褐色	✓	✓	✓	ε	3	0	6
	05				✓	✓	✓	ε	4	0	3
	92			25YR 1/3 灰褐色	✓	✓	✓	ε	3	0	3
	05				✓	✓	✓	ε	3	0	1
	93				✓	✓	✓	δ	3	C <sub>L</sub>	3
	05				✓	✓	✓	ε	4	D	3
	94				✓	✓	✓	δ	3	C <sub>L</sub>	3
	05				✓	✓	✓	δ	3	C <sub>L</sub>	3
	95			25YR 6/2 灰褐色	✓	✓	✓	γ	3	0	4

・90.15~90.55m 粘り状部と硬く「c」主体の硬質岩片の砂岩砕体、一部割れ目の増幅(2倍)。

・90.55~90.85m m 付スライム

・90.85~91.00m 硬質岩片の4 採取土、基盤の砂岩部は掘進時に流失し、推定土。

● 91.35~91.54m: 破砕帯(主断面91.44m)

・91.35~91.43m: Hb  
 上端30°で液状、下端25°で湾曲して連続、φ2~3mm 石英粒、φ5~10mm 粘土の砂状化岩片に30%程度含む軟質岩「硬質粘土状」に呈出。色調は灰白(5Y9)~灰黄緑(10YR 7/2)。厚さ200mm

・91.43~91.44m: Hc-1  
 25°上端は湾曲し、下端は液状、連続、φ1mm 石英粒に砂岩の(5%以下)含む軟質粘土(砂岩)。色調は灰白(5Y9)。厚さ100mm

・91.44~91.51m: Hb  
 上端25°、下端10°で液状、連続、φ5mm 前後の硬砂岩片を30%程度含む少風化した軟質岩「硬質粘土状」に呈出。色調は黄褐色(10YR 6/3)。厚さ30~60mm

・91.51~91.54m: Hj  
 上端10°で液状、下端20°で連続的に連続。下端面とほぼ平行で20~30°割れ目に10~20%程度の粗さφ5mm 程度に硬砂岩の岩片に砂状化、岩片間には軟弱粘土の岩片。全体的に「粘土混り岩片状」に呈出。色調は灰白(5Y9)。厚さ20~25mm

91.54~93.05m: D  
 φ10% 前後の硬土「D」岩片と岩片間の粘土~砂状部が主、全体に軟化著しい。92.00m 付近に石英は砂状化。

93.05~93.66m: c<sub>L</sub>  
 20~80°割れ目に多く、割れ目に1~3% 程度の砂岩部~粘土状部を呈出

93.66~93.86m: D  
 上端20°割れ目に粘土と砂状化の岩片

93.86~94.25m: c<sub>L</sub>  
 50~70°の液状部40~50°割れ目に呈出。  
 94.25m 付近は硬く「c」の、94.43m 付近は硬く「c」の主体。  
 ・94.25~94.31m 10~20°割れ目に固く「砂岩状」に呈出。

・94.43m 付近は岩片自身は硬く「B」粘土の割合も多く含む割れ目に10~20% 程度の隙間を充填した小岩片(20)割れ目の一部は20% 程度まで。

↑

↓

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 95 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化			
	05			2.5YR 1/2 灰褐色	✓	✓	✓	γ	3		
	96	95.94 96.00			✗	✗	✗	δ	0	2	
	05			2.5YR 7/2 明褐色							
	97	97.05	Gp		✓	✓	✓	δ	3	0	2
	05			2.5YR 7/4 灰褐色							
	98	98.05 98.19			✗	✗	✗			0	6
	05			2.5YR 6/2 灰褐色	✓	✓	✓	δ	3		
	99	98.72			✗					0	7
	05	99.40 99.56 99.57 99.68			✓	✓	✓	δ	4		
					✓	✓	✓	ε	3		
				2.5YR 7/3 灰褐色	✓	✓	✓	γ	2		
100					✓				0	2	

95.50~95.71 m は割れ目の少ない砂岩、 $\rho$  10 m/m 程度に小片に砕く。

95.96 m: 60°割れ目に厚1mm程度の軟弱粘土を伴う。上盤側厚2mm程度の砂岩部を伴う。

95.94 m ~ 98.05 m は硬土「D」の割れ目主体、 $\rho$  5 m/m 程度に砕く。

96.52~97.60 m: 30~40°と60~70°割れ目が交差し、前者は後者に切し合う形で (右20~35%)

97.07 m: 幅2~3%、150 m 程度の軟弱粘土を伴う。

97.58~97.69 m: 2mm 程度の軟弱粘土を伴う、黒褐色化。

97.67 m ~ 97.98 m: 硬土「C」割れ目の幅1~2%、白色軟弱粘土状、 $\rho$  2~3% 程度に砕く。

98.02 m: 幅2~5%、30°割れ目、一部は軟弱粘土化。

98.19~98.92 m: 硬土「C」主体、割れ目の面は褐色化が約5%、割れ目には軟弱粘土部を伴う。

98.92~99.50 m: 硬土「D」主体、全体の軟化(2mm)を伴い、変質が弱。

99.50~99.68 m: 破砕帯 (主断面 99.56 m)

99.50~99.76 m: HJ  
上部30°の連続的な、下部20°の連続した連続した断面は2mm厚の割れ目数が多い。また、20~60°の割れ目に95~100%硬土の薄片が細片化。薄片間に1~3%白色軟弱粘土が充填し、 $\rho$  5 m/m 程度の軟弱粘土状を伴う。一部は2mm程度の軟弱粘土を伴う。

98.69  
→  
←  
↓  
↑  
↓  
↑  
98.10

調査名

孔番・深度

H27 B-3 (100 ~ 105)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 100 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等		
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質	
	100.36		Gp	2.5YR 7/3 赤褐色	✓c	✓IV	✓D	γ	2			<p>色調は明黄褐(10YR 6/6)、厚さ45mm。          ・99.56~99.57m: Hc-2          30°の上下端と流打にて連続。φ1.5mmの割れ目と細粒の          黒化した石英粒10%程度を含む半固結状粘土(砂質)。色調          は灰白(2.5YR 8/2)、厚さ5~10mm          ・99.57~99.68m: HJ          上端45°流打にて、下端37°の流打にて連続。主軸断面と          平行な割れ目の割れ目とこれに直交60°斜交の割れ目とが、φ5~          20%に分布し、割れ目には粘土質の充填物と「砂状部」          10%あり。「砂状部」は「砂状部」を呈し、20%の砂質の          割れ目の充填(10YR 4/3)と、厚さ45mm</p> <p>99.68~101.70m: Cc          上・下端側は硬「D」、軟部は硬「C」主体。下端側の          101.45m以降は交代、変質が「C」進行して「D」に準じ、          100.00~101.00m、密着度の低い割れ目と中層割れ目とが          多く、それら開口割れ目と砂状部あり。</p> <p>101.45~101.70m 幅1~2%の白色~黄色粘土の脈状に多          分布</p> <p>101.70~104.28m: Cm          ・上端側の101.70~102.56m 2割れ目硬「C」、102.56m          以降は硬「B」と硬「C」あり。          ・割れ目充填物の分布は少ないが、上端側硬「C」部分          では、割れ目に砂状化の進行部分あり。          ・102.56m以降の硬「B」の短柱状の柱状コアには          幅1~2%の白色筋状の「中層割れ目」が多く分布するが、          1/2の流打では合致しない。          ・割れ目と粘土質の充填物は認められず、一部は厚さ          2~3%の砂状~細粒状部と認められる。</p> <p>103.24m、103.48mの割れ目65°割れ目は変質の割れ目と          同し(変位量不明)、前者は厚さ2~3%、後者は2%程度の          の砂と砂質、20%分布する。</p> <p>103.94~104.00m 見化=淡褐色化(軽化)あり</p> <p>104.28~104.88m: Ch          硬「C」塊状          ・一部の中層割れ目(白筋状の砂)と分布するが、密着度          の高。1/2の流打で合致しない。</p>		
	100.50													
	101.45				2.5YR 6/2 灰褐色	✓b	✓IV	✓C	γ	2	✓0		✓5	
	101.70					✓c	✓V	✓D	δ	3				
	102.34					✓b	✓IV	✓C	γ	2	✓0		✓8	
	102.49													
	102.56													
	103.24				2.5YR 5/1 褐色	✓b	✓IV	✓B	γ	2	✓1/2		✓12	
	103.48					✓c	✓V	✓C	δ	3	✓0		✓8	
	103.94					✓b	✓IV	✓B	γ	2				
	104.28													
	104.88				✓b	✓III	✓B	β	2					
	105.00									✓3	✓12			



調査名

孔番・深度

127 B-3 (110 ~ 115)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 110 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分		
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質						
05															110.30 ~ 110.95m, 60~60°と20°に近づく斜交層 10~30° 割れ目 + 中層割れ目あり。中層割れ目は密着度が高い。 両層割れ目は後者割れ目の一部に属する。
111					✓ b	✓ III	✓ B	β	2	✓ 25	✓ 15		CH		111.14m, 70°割れ目厚2~2.5cm 緑泥石板 ~ 片 E102 70°/mの傾斜で割れ目も点状あり。 111.3/ ~ 111.34m, 割れ目に薄く風化・褐色化あり。
05										✓ 12	✓ 12				112.00 ~ 112.27m, 70~80°と20°に近づく 20~30°の 中層割れ目約10cmの間隔で密集する。密着度 高く 112-の層打時 分離・細砕化あり。
112			GP	25YR 0/1 褐色	X	X	X	X	X						112.27 ~ 113.27 m : CM 堅硬であるが上下位に比し、割れ目より多く 中層割れ目が多いが、上層の112.27 ~ 112.32m E層より密 着度が高い。 割れ目には採集物は分布せず、外面も未風化・新鮮な物 が主体であり、一部の割れ目で緑泥石板厚2~3cm程度 砂化 ~ 片状に呈する。
05	112.27				✓ b	✓ IV	✓ B	β	2	✓ 20	✓ 10		CM		113.27 ~ 114.68 m : CH 堅硬・塊状 割れ目は存在するが70~80°の高角度系が主体、中層割れ 目は同傾向で密着度が高い。
113					X	X	X	X	X						
05	113.27														
114					✓ b	✓ III	✓ B	β	2	✓ 72	✓ 20		CH		114.4m, 80°中層割れ目厚2~3cm 暗緑灰色の緑泥石 点状あり。 114.40m 以降の割れ目一部は薄く浸染褐色化あり、酸化 褐色化の石化は伴わない。
05	114.68														
115					✓ c	✓ IV	✓ B	γ	2	✓ 40	✓ 22		CM		114.68 ~ 115.12 m : CM 70~80°割れ目より多く、20°の55、114.09 ~ 115.12m 間は上層 厚2.5cm, 下層30%の砂化 ~ 片状化あり

115.12

調査名

孔番・深度

H27 B-3 (115 ~ 120)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
115	115.00											
	115.12											
05												
116				2.5YR 6/1 褐灰	b	III	B	β	2	34	12	CH
05												
	116.80		Gp		X					47	25	CM
117					b	IV	B	γ	2			CM
05												
	117.32											
	117.39											
05												
	117.65			2.5YR 6/4 1.2mm 橙	b	III	B	γ	2			CH
118										10	10	CH
05												
	118.40				X							
	118.47			2.5YR 6/1 褐灰	b	IV	B	γ	2			CM
119												
05												
	119.00											
	119.11	50°										
	119.16	60°										
	119.25			10.9% 暗緑灰								
	119.30		Gp	2.5YR 7/1 明褐灰	c		D	δ	3			C2V
120												
	120.00											

115.12 ~ 116.80 m : CH  
 陸地、露出度の高い中層割目が多い。ハ2-の割目により、粗粒化しない。  
 115.12 m 割目内面に 1/1 mm 程度の緑泥石粘土がはじかれ、上層側厚さ約 30 μm ほど片状化している。

115.90 ~ 116.10 m : CH  
 5 μm 前後の橙色の割目石が分布する。  
 116.33 m で 70-80° の湾曲した割目と 40° 割目の交差。後者は前者より粗粒 (変位量 10% 程度)。両割目の一部に厚 1 μm、交差部で 5 μm の緑泥石粘土 (粘土) はじかれしている。

116.80 ~ 117.32 m : CM  
 一部に硬く、緑泥石の粗粒堅硬な割目 (2) の存在。割目が多い。中層割目は露出度が高く、ハ2-の割目でも分離しない。長石は白濁化しているものが多い。粗粒物は分布する。

117.32 ~ 117.39 m : C2V  
 75° 割目割目: 厚さ 20-25 μm ほど同様に粗粒化する。

117.39 ~ 118.47 m : CH  
 陸地、一部に割目が多い。厚さ 10 cm 以上の層状に存在。白色腐食の中層割目も多い。大半は露出度高く、ハ2-の割目でも分離しない。  
 4-3 μm の暗緑色の緑泥石が点在する。割目には粗粒物は分布しない。  
 117.65 ~ 118.40 m 橙色の割目石が多く、全体に15%程度の色調を呈する。

118.47 ~ 119.00 m : CM  
 上位に割目が多い。新しい堅硬な割目 (2) の存在。粗粒物は分布する。長石は白濁化しているものが多い。

119.00 ~ 119.11 m : C2V  
 同様に変質の進行に伴って粗粒化する。

119.11 ~ 119.25 m : HJ  
 (粗粒化) 侵入部の石灰質帯。  
 119.11 ~ 119.16 m : HJ  
 上端 50° の連続的、下端 60° の湾曲した連続。4-5 ~ 10 μm の薄板状の粗粒の石。割目間は幅 1 μm 以下の白色、1-3 μm の緑色の粘土質の粘土と 12 μm の粘土塊の粗粒 (粘土) と呈する。色調は10%程度 (2.5YR 7/4) の暗緑灰 (10.9%)、厚さ 30 μm。  
 119.16 ~ 119.18 m : Hc-1  
 60° の湾曲した連続。下層に連続的に連続。4 μm の石灰質の粗粒 (粘土)。色調は緑灰 (10.9%)、厚さ 7-10 μm。  
 119.18 ~ 119.25 m : HJ

70° 割目 (Ap)

D. 1. 1. 1. ( 粗粒化) 侵入部 ( 石灰質帯 )

調査名

孔番・深度

H-7B-3 (120 ~ 125)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

117 ~ 120 m: P1 新灰

上端 60° で直線的に、下端 40° で深部で連続、主断面と  
ほぼ平行にこれ科文の割れ目 厚 2 ~ 5 mm に細片化。岩片  
間の一部は幅 1 mm 緑灰色粘土細片が多分布。全体に  
粘土混じり岩片状) 呈在。色調は暗緑灰 (109 灰)、  
厚 40 mm

119.25 ~ 120.10 m: C2

目化に全体に粒化が、深部の硬質岩層一部に細片。  
割れ目厚 2 ~ 4 mm の緑灰色緑泥石粘土状を呈在。  
下端の 120.02 ~ 120.07 ~ 120.09 目化に砂化進む。  
120.09 ~ 120.10 m、60° 厚 2 ~ 10 ~ 15 mm 緑泥石粘土で厚化  
した。

120.10 ~ 125.90 m: C4

堅硬、塊状。  
割れ目状物は分布せず、面もほとんど未風化・新鮮。  
長石の白濁化はほとんど認められない。

121.60 m: 4番割れ目の開口割れ目状を呈在。

122.36 m、65° 割れ目の一部に黄至赤色の晶出。

122.61 m、60° 割れ目厚 2 mm の緑色砂を呈在。

123.63 ~ 123.67 m 割れ目部に片化した砂岩。新灰は  
硬質で、砂中粘土化や岩化はほとんどない。

標尺 120 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
	120.10				✓	✓	✓	δ	3			C2
	05											
	121									64	31	
	05											
	122		Gp ✓	26YR 6/1 褐灰 ✓	✓	✓	✓	β	2	74	23	C4 ✓
	05											
	123									76	41	
	05											
	124									88	26	
	05											
	125									47	20	

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 125 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化						変質
05					✓ b	III	✓ B	β	2		CH		125.00m 以下深では中層割れ目は32cmと分布しない。	
126	125.90				X		X	X	X	✓ 29	✓ 19		125.90 ~ 128.05m: CM 堅硬であるが中層割れ目は10cm割れ目化は中 が多い。 割れ目は現在物では2割、10cm程度で新産等 10cm全長に亘り60~90°の中層割れ目は10cm割れ目化 一部ではその間では片状化は2cmと多くなる。	
05			Gp	2.5YR 6/1 褐灰	✓ b	IV	✓ B	β	2	✓ 35	✓ 13	CMV	127.15 ~ 127.58m 80~90°の間に化して中層割れ目 数本は約10cm間隔で平行に分布 全長約50%に亘り片状化は2cmの片状化は粗粒化等 の劣化は伴わない。	
128	128.05				X		X	X	X	✓ 23	✓ 12		128.05 ~ 128.78m: CH 堅硬。 128.05 ~ 129.00mに中層割れ目は10cm割れ目化は 80~90°割れ目は割れ目化は連続的だが一部EP等 片状化は認められる。	
05	128.78				X		X					CH	128.78m .33°割れ目10cm、4~3cmの片状化は片状化 1~4cm程度。	
129	129.00									✓ 34	✓ 20		128.78 ~ 129.47m: CM 自然位のの中層割れ目は多く、大半は劣化度高、10cm程度に 分布する。 割れ目は現在物に侵入は分布しない。	
05	129.47				✓ b	IV	✓ B	γ	2			CM		
					X		X	X	X					
					✓ b	V	✓ B	γ	2			CL	129.47 ~ 129.84m: CL 劣化度の低い中層割れ目は多く分布し 現在物に侵入は分布しない。	
	129.84													
	129.85													
130	129.91				2.5Y 6/2	✓ b	V	✓ B	γ	2	✓ 20	✓ 10	CL	129.84 ~ 129.85m: Hc-2
	130.00				2.5Y 6/2	✓ b	V	✓ B	γ	2	✓ 20	✓ 10	CL	129.84 ~ 129.91m: 破砕帯(主断面129.84m) 129.84 ~ 129.85m: Hc-2



調査名

孔番・深度

H-7 B-3 (130 ~ 135)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等		
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質	ROD
130	05	130.59	Gp	2.5YR 6/2 灰褐	c	✓	B	γ	2		C <sub>L</sub> ✓	<p>70° ± 端部色の、端部緑泥石連続、φ1~3mm 石英粒、φ2~3mm 岩片 10~20% 含む 軟質粘土 (0.5%)。色調は緑灰 (10G5Y)。厚さ 2~5mm の一部厚さ 0.5mm の片状部分あり。</p> <p>・129.85~129.91 m: HJ          上部 20° ± 濃緑石、下部 60~70° ± 濃緑石で連続。φ2~5mm 片状岩片化、岩片間は粘土~砂状化。粘土量は他の HJ 層より多い。全体的に「粘土質岩片化」を呈す。          色調は黄緑~灰色を呈す (10G5Y)。厚さ 25~35mm</p> <p>・129.91~130.57 m: C<sub>L</sub>          岩片は堅硬であり、高角度割れ目、中層割れ目 0°、1~2cm 間隔で分布。片状の砂岩を呈す。          割れ目により薄く砂状化している。</p> <p>・130.57~131.27 m: C<sub>M</sub>          自由節状の中層割れ目 0° 密着度 1/2~1/3 高圧で分離・細片化している。</p> <p>・130.75~130.90 m: 幅 0.5~1cm 白色方解石脈状に分布。</p> <p>・131.27~132.41 m: C<sub>H</sub>          堅硬・塊状 1/2 非晶質          自由節状の中層割れ目 0°、周囲と同化、1/2 の高圧で分離している。</p> <p>φ2~3mm 暗緑色の緑泥石斑点・点状、全体的に緑泥石化の鉱物学的変質を呈す。酸化・粘土化による変化は認めない。</p>		
131	05	131.20 131.27		5GY 6/1 灰	✓	✓	B	β	2	3	24	14	C <sub>M</sub> ✓	<p>130.57~131.27 m: C<sub>M</sub>          自由節状の中層割れ目 0° 密着度 1/2~1/3 高圧で分離・細片化している。</p> <p>・130.75~130.90 m: 幅 0.5~1cm 白色方解石脈状に分布。</p> <p>・131.27~132.41 m: C<sub>H</sub>          堅硬・塊状 1/2 非晶質          自由節状の中層割れ目 0°、周囲と同化、1/2 の高圧で分離している。</p> <p>φ2~3mm 暗緑色の緑泥石斑点・点状、全体的に緑泥石化の鉱物学的変質を呈す。酸化・粘土化による変化は認めない。</p>
132	05	131.60		2.5YR 6/2 灰褐	✓	✓	B	β	2				C <sub>H</sub> ✓	<p>132.41~134.33 m: C<sub>M</sub>          岩片は堅硬であり、一部で密着度の低い中層割れ目 0° &lt; φ30mm 前後に分離・細片化している部分あり。</p> <p>1/2 未同化・未変質で下部に P 層を呈す割れ目換在物に分布 (5%)。</p>
133	05	132.41		5GY 6/1 灰	✓	✓	B	β	2				C <sub>M</sub> ✓	<p>132.41~134.33 m: C<sub>M</sub>          岩片は堅硬であり、一部で密着度の低い中層割れ目 0° &lt; φ30mm 前後に分離・細片化している部分あり。</p> <p>1/2 未同化・未変質で下部に P 層を呈す割れ目換在物に分布 (5%)。</p>
134	05	133.39		2.5YR 6/2 灰褐	✓	✓	B	β	2				C <sub>M</sub> ✓	<p>133.00~133.60 m 間は中層割れ目 0° の φ30mm 前後に分離 (多い) の粘土粘土は付いている。</p> <p>・133.39~133.85 m: φ2~3mm 暗緑色の緑泥石斑点状に付く。石基は濃緑色。色調は緑泥石 (2nd)。          (明細参照)</p>
135	05	133.85		5GY 6/1 灰	✓	✓	B	β	2				C <sub>M</sub> ✓	<p>133.00~133.60 m 間は中層割れ目 0° の φ30mm 前後に分離 (多い) の粘土粘土は付いている。</p> <p>・133.39~133.85 m: φ2~3mm 暗緑色の緑泥石斑点状に付く。石基は濃緑色。色調は緑泥石 (2nd)。          (明細参照)</p>
134	05	134.33		2.5YR 6/2 灰褐	✓	✓	B	β	2				C <sub>H</sub> ✓	<p>134.33~139.66 m: C<sub>H</sub>          堅硬・塊状 1/2 未同化・未変質          中層割れ目 0° 少量分布あり。周囲と同化。1/2 の高圧で分離 (2nd)</p> <p>・134.33~134.70 m: 緑泥石化の暗緑泥石 (1/2) あり。</p>
135	05	134.70		5GY 6/1 灰	✓	✓	B	β	2				C <sub>H</sub> ✓	<p>134.33~139.66 m: C<sub>H</sub>          堅硬・塊状 1/2 未同化・未変質          中層割れ目 0° 少量分布あり。周囲と同化。1/2 の高圧で分離 (2nd)</p> <p>・134.33~134.70 m: 緑泥石化の暗緑泥石 (1/2) あり。</p>
135	05	134.92		2.5YR 6/2 灰褐	✓	✓	B	β	2				C <sub>H</sub> ✓	<p>134.33~139.66 m: C<sub>H</sub>          堅硬・塊状 1/2 未同化・未変質          中層割れ目 0° 少量分布あり。周囲と同化。1/2 の高圧で分離 (2nd)</p> <p>・134.33~134.70 m: 緑泥石化の暗緑泥石 (1/2) あり。</p>

調査名

孔番・深度

H27 B-3 (135 ~ 140)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 135 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの種類	風化	変質			

0.5	135.65			2.5YR 7/2 明褐灰															
136										28	16								
0.5																			
137			Gp	2.5YR 7/2 灰褐	✓ b	✓ III	✓ B	β	2	58	29		C4						
0.5																			
138										71	15								
0.5																			

・134.85 以下は 20% 以下 10% 前後の橙色の長石が  
主成分。

・135.76 m. 20° 割れ目は 全断面が交差する割れ目の一部と知ら  
れる (Sj と詳細参照)。

・136.09 m. 80°、136.33 m. 65°、136.56 m. 60° 前二者  
は厚さ 1~2% の緑泥石脈、後者は石英脈が密着に  
分布。細粒化や細粒化は不明。

・137.52 ~ 137.62 m. 晶洞中に石英、橙色の長石、  
緑泥石が少量分布。

・138.35 m. 138.50 m. 中層に目立つる割れ目化 (= 48)。

139	139.02			2.5Y 6/1 緑灰						72	27								
	139.21																		
0.5				2.5YR 7/2 灰褐															
	139.66				X	X	X	X	X										
					✓ b	✓ IV	✓ B	β	2				CM						
140	139.96				X	X	X	X	X	52	52		CH						
					X	X	X	X	X										

・139.02 ~ 139.21 m. 緑泥石化 = 緑色化あり。

・139.37 m. 20° 厚さ 2~3 mm 脈 = 緑泥石と石英が共生して  
分布。中層に微細な変質多量分布。

139.66 ~ 139.96 m : CM  
割れ目 10~50 程度。  
塊状物は分布なし。

139.96 ~ 140.39 m : CH

140.00

調査名

孔番・深度

H27 B-3 (140 ~ 145)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 14D (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	組区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
140	140.00			Z5GY 緑灰	✓	✓	✓						140.13 m. 65°割目と10°割目の割れ目あり。軽微な風化あり。
	140.75				b	III	B	β	2			CH	
05	141.39			Z5YR 1/2 明揚灰	X	X	X	X	X				140.39 ~ 140.61 m: CH 70°割目あり。一部片状化あり。片状化は粗大。
	142.61				b	IV	B	β	2			CM	
141				Z5YR 1/2 明揚灰	X	X	X	X	X	34	13		140.61 ~ 141.97 m: CH 塊状 一部の中層割目が多い。密度が高く、周囲と同化し、142°の割目での分離・解離はなし。
	141.70				b	III	B	β	2			CH	
05	141.70			Z5YR 1/2 明揚灰	X	X	X	X	X				141.40 ~ 142.00 m. 40%前後の粘土質緑泥石化。淡緑色部あり。
	141.97				X	X	X	X	X	X	48	16	
142			Gp	Z5YR 1/2 灰緑	X	X	X	X	X				141.97 ~ 142.32 m: CM 中層割目が多い。一部は塊状。 純な節理と呈する中層割目が多い。密度が高く、 一部は142°割目割れ目化している。
	142.32				b	IV	B	β	2			CM	
05	142.32			Z5YR 1/2 灰緑	X	X	X	X	X				142.32 ~ 142.43 m. 割目が交差し、40~50%程度に割れ目化している。片状化は粗大。
	142.70				X	X	X	X	X	X	14	14	
143				Z5GY 1/2 緑灰	X	X	X	X	X				142.70 ~ 142.96 m. 緑泥石化で淡緑色呈する。
	143.03				b	IV	B	β	2			CM	
05	143.03			Z5YR 1/2 灰緑	X	X	X	X	X				143.48 ~ 144.50 m. 40~50%の橙色の割れ目斑紋あり。上下に割れ目多量あり。割れ目の一部は50~60°の面を割れ目する部分もあり。 中層割目形成時に再配列した割れ目あり。 (流動面あり)
	143.31				X	X	X	X	X	X			
144				Z5YR 1/2 灰緑	X	X	X	X	X	30	10		143.80 ~ 144.00 m. 割目間隔 20~30°/m = 45°中層割目による分離。140°割目化している。
	144.61				X	X	X	X	X	X			
05	144.61			Z5YR 1/2 灰緑	X	X	X	X	X				144.61 ~ 144.68 m. 40~55°の中層割目が多い。 多くは140°化している。
	145				X	X	X	X	X	X	0	8	





調査名		孔番・深度		H27B-3 (155 ~ 160)		観察日							
標尺 155 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等	
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質
155	0.5				✓ b	✓ II	✓ B	β	2	✓ 78	✓ 30	B	<p>・155.25m: 70~80°割れ目 2: 変質部 一部の中層割れ目 4: 割れ目 (方位不明)</p> <p>・156.77~156.80m 一部に緑泥石化 (φ 30% の斑状に緑泥石化部。軽化は伴わない。</p> <p>・156.00~156.14m 白色筋状の中層割れ目の一部は割れ目の中層割れ目より著しくなる。</p> <p>156.18~159.24m: CH</p> <p>堅硬、塊状。一部は長さ20cm以上の柱状に劈理を有する長さ10~20cm (III) の主体。割れ目中層割れ目の一部は緑泥石化部より著しくなる。</p> <p>・156.50~156.90m 割れ目の変質。一部に片状化部が挟在物は分布する。</p>
156	0.5	156.18			✗	✗	✗	✗					
157	0.5		Gp	254R b/3 (20~40%)	✓ b	✓ III	✓ B	β	2	✓ 28	✓ 16	CH	<p>・157.00m 以下は 20~40°割れ目が主体</p> <p>・157.35~157.89m 割れ目の石基も緑泥石化。緑泥色帯あり。</p> <p>・157.83~157.89m 30°程度に 2~3% の増緑泥色の緑泥石 0.5% 弱の配列性ありて存在する。</p> <p>・158.20~158.30m φ 10% 前後の大型割れ目石が点在。</p> <p>・158.54m と 158.62m に 70~80° 厚1~2% の石英帯にて緑泥石脈の分布。よく著しく、分離性あり。</p> <p>・158.54m 以下は石基も含め緑泥石化の進行が著しく、軽化は伴わない。堅硬である。</p>
158	0.5	158.54		254R 4/1 暗緑灰						✓ 53	✓ 26		
159	0.5	159.24			✗	✗	✗	✗		✓ 61	✓ 32	B	<p>159.24~160.40m: B</p> <p>堅硬、塊状の割れ目あり。</p> <p>緑泥石化にともなう暗緑色の中層割れ目の中層割れ目と多量に分離して著しく、ハニエの進行が分離性あり。割れ目緑泥石の分布あり。</p> <p>全体は緑泥石化の進行。暗緑灰色の主体である。緑泥石化の弱い部分には白色の筋状の著しく、全体は暗緑色調から模様が呈する。</p>
160										✓ 93	✓ 32		

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 160 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
	160.32			2.5GY 4/1 暗緑灰	✓ b	✓ II	✓ B	β	2		B	✓	159.65m ~ 160.32m 割れ目 20% 割れ目 20% 割れ目 20% (割れ目 20% 割れ目 20%)
	160.40			2.5YR 6/4 灰褐色	X	X	X	X		45	22		
	161.10			2.5GY 4/1 緑灰	✓ b	✓ III	✓ B	β	2		CH	✓	161.10 ~ 161.69m φ57mm前後と大型の暗緑色・緑泥石斑斑状に含む。20% 上部割れ目 161.10 ~ 161.24m は 70% 以上を占める中・細粒の緑泥石斑斑状の通孔・緑泥石斑斑状。
	161.24			2.5YR 6/2 灰褐色	✓ b	✓ III	✓ B	β	2		CH	✓	
	162.46		Gp	2.5YR 7/3 灰褐色	X	X	X	X		26	13		162.12 ~ 162.18m φ10mm前後と大型の橙色の片長石が点在する。
	162.57			2.5YR 5/2 灰褐色	✓ b	✓ II	✓ B	β	2		B	✓	162.46 ~ 162.57m 80 ~ 90% の中割れ目 5 ~ 20% の割れ目 平行に分布。割れ目の深さ 0.1 ~ 0.2mm の割れ目に分離する。
	163.50			2.5YR 5/2 灰褐色	✓ b	✓ II	✓ B	β	2		B	✓	162.57 ~ 166.65m: B 堅硬、塊状で 20cm 以上の長柱状が主体。一部に厚さ 2mm の白色筋状の中割れ目が発達する。割れ目の深さは 0.1 ~ 0.2mm の割れ目に分離する。割れ目には石英と片状化には認められる。橙色の片長石が層状に分布し、この部分では色調が橙褐色 (R50) となっている。緑泥石斑斑状は割れ目中の中割れ目には認められず、中・細粒の緑泥石斑斑状は 20% 程度に認められる。
	164.00			2.5YR 6/4 灰褐色	✓ b	✓ II	✓ B	β	2		B	✓	163.50 ~ 163.60m 高角度割れ目が交差し、一部に片状化が認められる。片状は 20% 程度に認められる。面の一部に黄鉄鉱の晶出が認められる。
	164.94			2.5YR 6/4 灰褐色	✓ b	✓ II	✓ B	β	2		B	✓	164.00 ~ 164.30m φ10mm前後と大型の橙色の片長石と同径・緑泥石斑斑色の緑泥石斑斑が混在する。
	165.00			2.5YR 6/4 灰褐色	✓ b	✓ II	✓ B	β	2		B	✓	164.50m φ50mm 緑泥石斑斑。石英と石英の二次鉱物も認められる。
	165.94			2.5YR 6/4 灰褐色	✓ b	✓ II	✓ B	β	2		B	✓	164.94m φ50mm 割れ目 上部割れ目に厚さ 20% の石英筋が緑泥石斑斑を伴って分布。上部境界は堅硬。

2.5YR 6/4 灰褐色 166.65

調査名

孔番・深度

H27 B-3 (165 ~ 170)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 165 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分		
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質					
0.5	165.89		Gp	2.5YR 6/4 灰褐色	b	II	B	β	2	98	46	B	<p>164.95 ~ 165.89m. 褐色の片状石の含有が下位に比して多くなり、色調も褐色系(12.5%褐色)を呈す。</p> <p>165.32m - 70°割れ目は、165.32mでの8%の褐色の片状石の割れ目になり、その交差する割れ目の一部がなっている(目録に多量に2-3mm あり)。本割れ目面には金網も認められる。</p> <p>165.80 ~ 166.10m. φ10~20%の石英が多量に出る。一部は地形の輪郭型を示す。熱水変質で緑泥石と石英晶出しに交代したものである。</p>	
	166.51	2.5YR 5/1 褐灰		x	x	x	x							<p>166.44 ~ 166.47m φ10%斑状~長20~30%~幅5%の石英の石英晶出し。</p>
0.5	167.00			2.5Y 4/1 暗緑灰	b	III	B	β	2	77	63	C4	<p>166.65 ~ 167.21m: C4</p> <p>一部に割れ目が多い。片状・塊状で、粘土中での存在物は分布しない。</p> <p>167.00m以下では緑泥石化が進み、暗緑灰色を呈す。</p>	
	167.21			2.5YR 6/2 灰褐	x	x	x	x						<p>167.21 ~ 167.55m: CM</p> <p>飽和状の片状割れ目の交差。片状の碎片で、片状は塊状で存在物は分布しない。</p>
0.5	168.48			2.5Y 4/1 暗緑灰	b	III	B	β	2	36	21	C4	<p>167.55 ~ 168.66m: C4</p> <p>堅硬、塊状で、長さ20cm以上の管柱状で、10~20cmの管柱が主体。</p> <p>飽和状の片状割れ目を含んでおり、密度は高く、12の強度も分布しない。</p> <p>全体に緑泥石化し、40%の暗緑灰色の斑状晶出しを呈す(2点に於て)。割れ目中片状割れ目を含んで分布するものは少ない。緑泥石化が進む部分は色調が暗緑灰色を呈す。</p> <p>割れ目には粘土、2%の存在物は分布しない。一部で緑泥石化や黄鉄鉱晶出しが認められる。</p>	
	169.19			2.5Y 4/1 暗緑灰	x	x	x	x						<p>169.19 ~ 169.41m 緑泥石化が進む暗緑灰色化が、軟化は伴わずに堅硬</p>
0.5	169.66			2.5YR 6/2 灰褐	x	x	x	x						<p>169.50m以下で、2~3%の緑泥石が斑状に晶出し。</p>
	170.00			2.5YR 6/2 灰褐	b	II	B	β	2	43	18	B	<p>169.66 ~ 170.07m: B</p> <p>堅硬、塊状で割れ目が少ない。</p> <p>一部に飽和状の片状割れ目の分布があり、密度は高く、強度も高い。</p>	



# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 170 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化			
	170.34 (沖4965)			ス5YR 5/2 灰褐							169.67 ~ 170.22 m. $\phi$ 2 ~ 3 mm の暗緑灰色緑泥石が斑状に多量に晶出。
0.5				ス5YR 5/1 褐灰							170.20 ~ 170.65 m. 60 ~ 70° の中層割れ目が数本分布するが密着度が高く、ハ2の塩析で分離しない。
171	171.75							91	77		171.00 ~ 171.08 m. $\phi$ 10 mm の大型の橙色の斜長石が晶出し、斑状。
0.5				ス5YR 5/2 灰褐	b	II	B	$\beta$	2	B	171.29 m. 割れ目が交差部で交差部同色に片状化しない。
172			Gp					87	49		171.95 m. 割れ目が交差部で交差部同色に片状化しない。
0.5	172.69										172.32 ~ 172.53 m. $\phi$ 2 ~ 3 mm の暗緑色の緑泥石が幅 0.5 ~ 1 mm の石英細粒石片で、斑状に晶出し、斑状。
173	172.86							62	37		172.69 ~ 174.13 m: CH <sup>長柱状</sup> 堅硬、塊状で一部割れ目交差部で長径約 20 cm 以上の柱状コア主体。 一部は緑泥石化し、割れ目中層割れ目を経て細粒状に $\phi$ 1 ~ 3 mm の斑状に晶出し、割れ目面で行方な結晶は認められない。細粒部は石英細粒で構成。
0.5				ス5YR 6/3 灰褐	b	III	B	$\beta$	2	CH	173.66 ~ 176.73 m. 密着度の低い中層割れ目 10 ~ 20% 間隔で分布。ハ2の塩析で分離。細粒部は石英の塊状物は分布しない。
174	174.13							58	28		173.93 m. 43° 割れ目は $\phi$ 5 mm の橙色の斜長石に結晶。
0.5				ス5YR 6/1 褐灰							174.13 ~ 175.55 m: B 堅硬、塊状で一部割れ目交差部で長径約 10 cm 片状に分布。コア長 20 cm 以上の長柱状コア主体。 一部は白色、筋状の中層割れ目を含む。密着度が高い。ハ2の塩析で分離しない。 上位側には緑泥石化が認められる。
175								100	62		

175.55